

情報通信研究機構

# NICT 先端研究

(76)

(AI)技術の研究開発を推進している。UCRではウェブページなどに記述されている社会の知を解析して利活用するための「社会知解剖技術」を研究開発しており、ASTRECでは、言葉の壁を越える「多言語音声翻訳技術」を研究開発している。両研究開発で

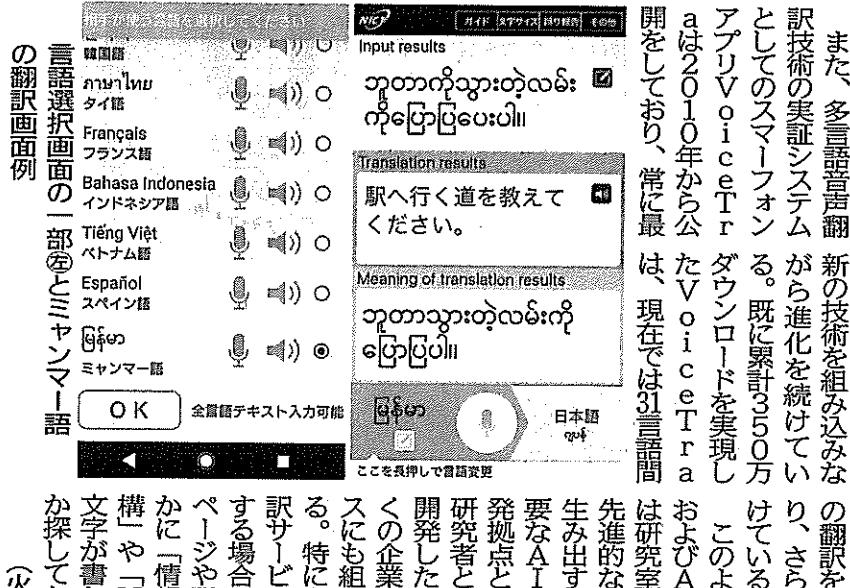
は最新のAI技術を駆使して広く公開する際にSNSで発信されるとともに、企業などの情報を分析するDXや災害発生による画像処理などの技術が生まれ出されている。私は「技術は使われなければ意味がない」という研究者としての信念に基づいて、開発した技術を論文發表等として、ウェブ40

## 世界トップクラス 音声・言語処理技術

# AI 駆使で創出

ユニアーバーサルコミュニケーション研究所研究室長

木俵 豊



この技術を駆使して、複数言語間でのコミュニケーションを円滑に行うことができる。また、多言語音声翻訳技術の実証システムとしてのスマートフォンアプリVoiceTraは2010年から公開をしており、常に最新の技術を組み込みながら進化を続けており、さらなる進化を続ける。既に累計350万回を突破している。

このようにUCR、ASTRECでおよびASTRECでは、現在では31言語間は研究室で開発された先進的な技術を社会に生み出すNICTの重要なAI技術の研究開発点となっている。研究者と一丸となって開発した技術は既に多くの企業の商用サービスにも組み込まれている。特に多言語音声翻訳サービスなどを利用する場合には、ウェブページや説明書のどこかに「情報通信研究機構」や「NICT」の文字が書かれていないか探してもらいたい。(火曜日に掲載)

科学技術・大学

京都府、大阪府、奈良県にまたがる「けいはんな学研都市」にあるNICTのユニバーサルコミュニケーション研究所(UCRI)、進的音声翻訳研究開発推進センター(ASTREC)では、人工知能

01年4月通信総合研究所(現NICT)入所。11年よりユニバーサルコミュニケーション研究所長。14年より先進的音声翻訳研究開発推進センター長兼務。博士(工学)。

の翻訳画面例

TYPE OF INDUSTRY